

ベゴニア温室園路修繕について

田中宏昌

2021年9月2日に施工したベゴニア温室園路修繕について記録する。

はじめに

平成8年建設時には温室内の乾燥を防ぐ目的で、水を貯える能力のある床材としてゴムチップを用いた。植物の生育には良い効果があったが、1年後からカビの付着によると思われる汚れが付くようになった。さらに、経年劣化により床にくぼみができ、水が溜まりやすくなった。水が溜まった場所は、特に滑りやすくなっており、子どもが転倒するなどの支障が出ていた。このように場所により程度の違いはあるが、温室内の床全体がカビにより滑りやすい状態になっていた。温室には月に一回業者に依頼して高圧洗浄機とポリッシャーを用いた清掃を行っているが、改善されていない。そこで、今回は水が溜まりやすくなったくぼみの場所から溝を切り排水溝に繋げることで、排水性を高め、滑りにくくするための修繕を行った。また、温室内にある階段の滑り止め措置も同時に行った。

施工内容

今回の施工では6箇所（箇所）の床の溝切りと、7箇所（箇所）の排水溝のステンレス縁カット、階段のタイル変更を行った。（図1）

施工後

施工前は床のくぼみに水が溜まっていたが、施工後は水が溜まらなくなった。（写真1 A,B）毎朝行っていた水切りの作業も短縮され省力化につながった。

最後に

今回の施工で温室内の水溜まりは減った。しかし、ベゴニア温室は一年中湿度が高く、床面が乾きづらいためカビの根絶は難しかった。また、カビがゴムに浸透しているため表面の清掃だけでなく、薬剤を使用した清掃が必要だと思われる。しかし、以前薬剤を使用したとき温室内の植物に被害が出たため、温室内の植物を保

護または移動させて薬剤を使用するか、薬剤を使用しない清掃方法を考える必要がある。今後は床の材質、日々の清掃など多角的な視点からこの問題の解決策を見つけていきたい。

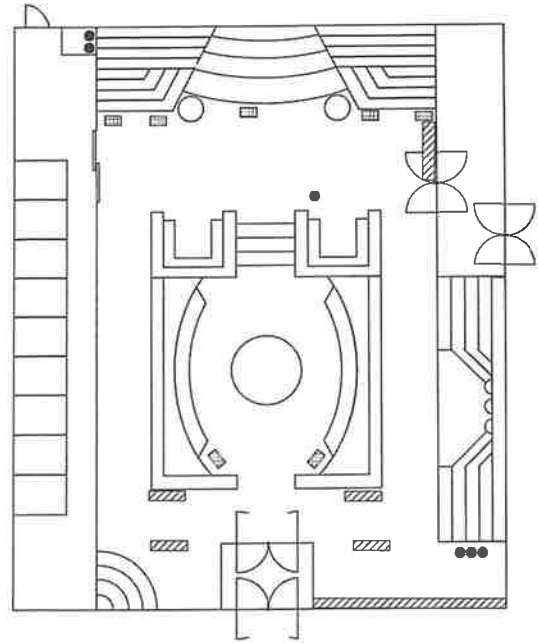


図1 温室施工箇所

網掛け（格子）は排水溝のステンレス縁カット施工箇所、網掛け（斜線）は床の溝切り箇所

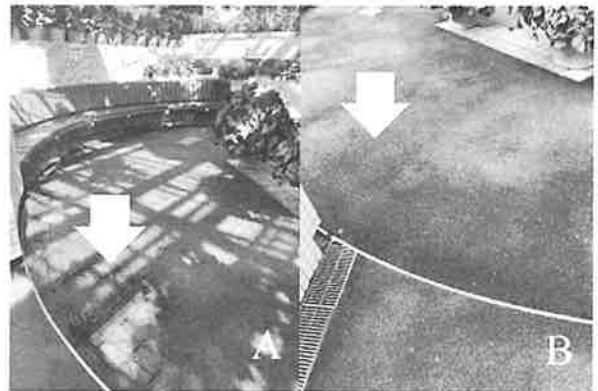


写真1 (A) 施工前の様子 (B) 施工後の様子